（第２号様式）

令和４年４月 30 日

神奈川県教育委員会教育長　殿

県立神奈川工業高等学校（定時制）

令和４年度　学校評価報告書（目標設定・実施結果）

	視点	４年間の目標 （令和２年度策定）	１年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 （　月　日実施）	総合評価（　月　日実施）	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	工業の専門性の向上を図り、実際的・体験的学習に重点を置くとともに、産業界の求める人材を育成するための新しい教育課程を編成し、学校全体でカリキュラム・マネジメントに取り組む。	①学び直しや生徒の自学自習により、知識・技能の習得のみならず、生徒が主体的に学ぶ意欲を高め、活用する力を育む魅力ある授業の展開を目指す。 ②工業に関する専門性の向上を図る教育に重点を置き、産業界との連携を図りつつ、教科・科目の適切な設置を図れるよう編成を行う。 ③オンライン授業の環境整備に努め、技術向上を目指した研修会等の充実を図るとともに、継続的かつ組織的な授業改善に取り組む。	①プリントなどの補助教材の活用や、ＴＴなどによるきめの細かい指導を行うことで、基本的な知識・技能の習得を目指す。 ②生徒自らが課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成が図れるようなカリキュラムの編成や授業計画の策定を行う。 ③継続的に研修を行うことで、情報機器の実践的な活用方法などの技術の習得を図る。また、テーマを設定した研究授業の開催など組織的な授業改善に努める。	①生徒自身が主体的に学習に取り組む姿勢が見られたか。身に付けた知識を活用する姿勢が見られたか。 ②学習環境の整備を進め、生徒の学習意欲と学力の向上につなげることができたか。生徒自らが課題に取り組み解決するための指導が実践できたか。 ③オンライン授業への環境を整え、授業実践のための技術や情報を共有することができたか。授業者と参観者が研究授業のテーマを共有し、研修を行い、組織的に授業改善を進めることができたか。					
2	（幼児・児童・） 生徒指導・支援	①豊かな人間性の育成を図るとともに、個に応じた生徒支援と相談体制の一層の充実により生徒理解に努め、生徒が安心して学べる学校づくりを進める。 ②社会的・職業的に自立した人材の育成をめざす。 ③部活動の活性化を図る。	①個に応じた支援体制の充実をめざし、職員研修および情報共有の充実を図る。 ②生徒が参加できる学校行事の運営を目指す。	① 職員研修を実施し、心の健全・身体の安全等に関する支援スキルを向上させ、教育相談報告会等を実施し、情報共有と生徒理解を深める。 ②生徒会や委員会の生徒を中心に学校行事を運営する。	①生徒個々の理解を深め、個に応じた支援・指導を実施することができたか。 生徒の日常行動や意識が向上したか。 ② 生徒が中心となって行事の運営や実施ができたか。					

	視点	４年間の目標 （令和２年度策定）	１年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価	総合評価（　月　日実施）	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等	（　月　日実施）	成果と課題	改善方策等
3	進路指導・支援	入学から卒業までの体系化したキャリア教育を確実に実践し、社会を構成する一員としての自覚を育む進路指導・支援に取り組む。	①改訂したキャリア教育実践プログラムを教員・生徒に共有し、それに基づいた進路ガイダンスやＬＨＲを計画的に実施していく。	②教室・職員室・ホームページへの掲載をすることで、内外に情報を伝えていく。 ①進路ガイダンスやＬＨＲは内部での情報の共有と蓄積に加えて、外部の活用を活発にすることでキャリア教育目標の実現を図っていく。	①情報を発信し、教員・生徒に理解してもらえたか。 ①進路ガイダンスやＬＨＲが内外を活用することで、生徒にとって進路実現につながる機会となったか。					
4	地域等との協働	地域・企業との連携・協働を通して教育活動を活性化させ、地域に開かれた信頼される学校づくりを推進する。	①地域行事への生徒参加を促し、地域貢献清掃活動の定期的な実施を計画する。 ②学校ＰＲのため学校ホームページを活用して、中学生やその保護者等へ学校情報の発信に努める。	①地域貢献清掃回数を増やし、地域のイベントに生徒が参加できる環境を作る。 ②学校ホームページの定期的な更新に努めるとともに、学校説明会等を通して、中学生や保護者等の本校への理解を深めさせる。	①地域清掃活動の回数が増えたか、また地域活動に生徒が参加することができたか。 ②学校ホームページによる情報発信の回数が増えたか。学校説明会等における本校への理解について、アンケートの回答に向上がみられたか。					
5	学校管理 学校運営	①事故防止の徹底に取り組むとともに、防災意識を高め学校防災力の向上を図る。 ②生徒と向き合う時間を確保するため、組織的な学校運営と校務の効率化を図る。	①信頼される学校づくりを目指して事故防止に努めるとともに、生徒に防災意識を持って訓練に取り組む姿勢を身に付けさせる。 ②会議や連絡事項について、職員連絡ツール(Teams)を活用して効率化を図り、生徒に向き合う時間を確保する。	①私費会計処理の適正処理を徹底するとともに不祥事事故の防止に全職員が取り組む。 ②職員連絡ツール(Teams)を活用し、職員間の連絡を効率よく行う。	①私費会計監査の指摘事項及び不祥事がゼロになったか。 ①年２回の避難訓練及びＤＩＧ訓練を実施できたか。 ②Teams 掲示板を効率的に活用し、職員間での指示連絡が円滑に行えたか。					